

広報



しべつ

萌える海と大地

さわやか交流郷



「標津の晨（よあけ）」＝釧路市・北村康春氏撮影＝

謹賀新年

本年も「広報しべつ」を
よろしくお願ひします。

1995年（平成7年）

1

月号 No. 335

年頭に
あたって

町民の皆様、あけましておめでとうございませう。希望に満ちた輝かしい新年を皆様と共に迎えさせていただきますことを謹んでお慶び申し上げます。

顧みまずと平成六年は、依然として先行き不透明な景気動向の中で、新しい政治体制や税制あるいは産業形態にも及ぶ社会の大変革を予想させる年として、幕開けしたところでもあります。

政局にあつては、新しい政治体制が模索される中で、再度の連立組み替えにより、だれもが予想しえなかつた自社連立政権の誕生。経済にあつてはガット・ウルグアイ・ラウンドにおける乳製品の関税化受入れ合意の震撼が続く中で米騒動あるいは流通機構の再構築による価格破壊、さらには円高により安い人件費を求める企業の海外進出と国内産業の空洞化が懸念される、まさに激動の一年でした。

このような目まぐるしく変動する社会状況の中で、本町の基幹産業である農業については、異常気象とも思える猛暑により乳用牛が疲労等のため全国的な生乳生産の低下減少の反面、乳飲料の消費が増大し、根室管内から道外への生乳移出量が大幅に伸び、また、漁

ております。

このような状況の中にあつて、非常に厳しい道程ではありますが、農業・漁業の生産が自らが窮状打開を求めて産業基盤の体質強化や消費流通対策あるいは生き残りをかけて産地間競争の荒海に乗り出したことは、明日の飛躍に明るい

域を取り巻く情勢は依然として厳しいものがありますが、町民生活の安定のために地震における被災施設の早期復旧や今回の教訓を生かした、より安全な避難態勢の確立と防災体制の充実あるいは町の活性化のために時代の要請に的確に対応した産業基盤の強化と経営

安定化に資する諸施策の展開による基幹産業の建て直し、また、本年が終

戦五十年の節目の年となることから、尊い犠牲に

思いをいたし、恒久の平和を希求する町民の総意を後世に伝えるための標としての記念事業の取り組みなどに、七千町民の

ゆまざる努力をもって邁進する決意を新たにしているところであります。

幸いにして、「健康と福祉の村」構想も一昨年の特別養護老人ホーム・標津はまなす苑の開設に続き、昨年は標津病院の移転新築、そして平成八年三月に着手予定の保健

福祉センター（仮称）と中核施設の全容が姿をあらわし、また、生涯学習センターも本年と来年の二年で完成する予定であり、これにより住民の福祉増進と社会教育環境が、より一層の充実が図られることになり、二十一世紀に向けた理想郷建設の大型プロジェクト事業の着実な前進を見ているところであります。

本年もまた、町民の皆様とともに、魅力が創り出される定住環境づくりに邁進し、来たるべき二十一世紀の次代を担う若人に引き継ぐため、任んで良かった町として、誇れる標津町の建設に万般の意を配して参る所存であります。

年頭に当り、所信の一端を申し述べ、町民の皆様にとりまして今年一年が最良の年でありましてことをご祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。



標津町長
小田桐 四郎

業においても鮭の水揚げが史上二番目の豊漁を記録し、日本一の座を奪回したものの、いずれも加工

乳製品の過剰在庫や生乳の生産調整あるいは消費趣向の変化による鮭の大衆魚化による価格低迷と農・漁業の課題が構造的に内包し、極めて深刻な事態であると受けとめ

希望を灯すものと、大いに期待しているところであります。明けて平成七年も、社会の大変革の余韻を残し、町民の皆様におかれましては押し寄せる改革の荒波の中で、生活防衛のために向後に憂いのない選択が求められております。一方、行政にあつても地

新春のごあいさつ



申すよびまち

年頭に あたって

町民の皆様新年明けましておめでとうございます。

輝かしい平成七年の新春を健勝で迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

顧みますと、一昨年の釧路沖地震そして南西沖地震と自然のエネルギーの巨大さに恐怖を感じていた訳で、そのほとりも覚めない昨年十月四日の夜、私達の足元を直撃し、マグニチュード八・一という関東大震災より規模の大きい地震が発生、かつて体験したことのない暗やみの中で、激しく揺れ動く建物は大きくきしみ、今にもつぶれるかと危険を感じ、セトモノが次々と落ちて割れる音、そのうち家具が大きくすさまじく倒れる音、ずいぶん長い時間を感じ、二度と体験したくない恐怖でありました。

幸い、大きな人身事故がなかったことと、長い海岸地域は津波警報で避難はしたが、津波の押し寄

せることもなく災害を少なくしたと思っております。

しかし、道路、建物、公共施設の被害は大きく、特に液状化現象による下水道と、それに関連した道路陥没、マンホールは隆起するなど大打撃を受け、被害額は三十億になるのではと思われま

ようですが、地球規模での異常というか異変なのか環境や気象が変

わり、五十年來の高気温、全国的な水不足などで、ガット・ウルグアイ・ラウンドで厳しい状況の中、暑さで乳量が減少し、また、死亡する牛も出るなど経営に大きく影響を与えております。

水揚げ日本一の座を予想をくつがえして取り戻したが、魚価は史上

最低値という最悪の結果となり、今後行政としても早急な対策が望まれるところで、漁業の将来、そして基幹産業として位置づけていくためにも強力な行動を起こして行かなければと思われま



標津町議会議長
荒谷良治

このため降雪期を迎えている中で、町民の方々には大変不便をかけることとなり、一日も早い復旧と応急処置による不便の解消に努めており、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本町の基幹産業であります農・漁業においても人為的問題点もある

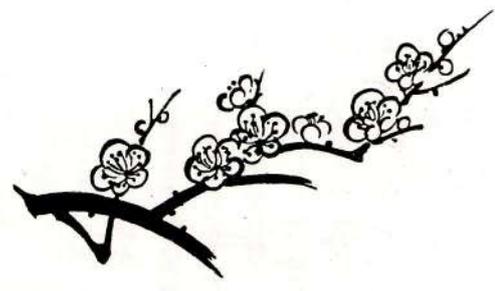
漁業においても超大型台風が次々と発生しては被害をもたらし、根室管内は直撃をまぬがれるも盛漁期に大時化となり流木とともに海に流入、四日間も沖へ出れない日が続き、近年にないことであります。

また、昨年は一昨年ゆずった鮭

効活用を図りながら、いま最も必要としている学習、集会、交流活動の場として十分機能を果たせる会館として整備され、二十一世紀に向け町民一人ひとりが豊かで住みよい町を形成してゆくためにも、生涯学習の場として大いに利用されることを願っております。

また、昨年は一昨年ゆずった鮭

議会といたしましても明るい環境の中で活力のある住みよい町をつくるため、町民各位の建設的なご意見に耳をかたむけ、十分審議を尽くし、次の時代に悔いのないよう対応してまいる所存です。終わりにになりましたが、町民各位のご健勝とご多幸を心より祈念いたしました新年のごあいさつといたします。



インタビュー

平成七年の新春を迎え、町民の皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は「新春インタビュー」として、昨年七月に発足した標津町サケ・ホタテ消費流通対策協議会実行委員長の戸田雅彦さんにお話を伺いました。

昨年は「1に行動、2に行動」でした

— 明けましておめでとうござい
ます。昨年は毎週土曜日の「標津・魚の日」や東京、札幌などでの売り込みなど、サケ・ホタテの消費拡大のため、新たな取り組みに奔走され、お忙しい年だったのではないのでしょうか。

忙しい一年でしたね。この協議会が発足して一年目ということで、とにかく昨年は「1に行動、2に行動」の年でした。

— 漁業も農業も厳しい状況の中、厳しいとばかり言ってられません。この点から、この協議会の活動は実にすばらしいことだと思います。

戸田 雅彦さん (43) 本町

▽標津町サケ・ホタテ消費流通対策協議会
実行委員長 ▽(有)戸田水産社長



そもそも、この協議会が発足した経緯は？

「標津は海のみち」なのに魚屋さんが少なくなっている。ある主婦の方から「標津で魚売っているのはどこ？」と言われ、「そーいえば」と思いました。当時、漁師(自分を含め)は魚

をとることしか考えていなかった。今までは、とればお金になっていました。

しかし、皆さんも承知のとおり、今はサケ・ホタテともに外国からの大量輸入や国内産の増加などにより、過剰在庫となり市場価格も急落。非常に厳しい状況とな

っています。

標津はサケの水揚げ日本一の町、そして、根室海峡の味の良い地まき天然ホタテ貝の産地として、今後激化する産地間での販売競争に対応していかなければなりません。この方策として、標津ブランドを確立させ、漁業者自らが消費拡大に取り組みむことを目的に発足したものです。

消費者側に立った販売が必要だと：

— 「標津・魚の日」の直売が大好評でしたね。

町外からもたくさんの方が来るのに驚きました。チラシの効果も大きかったのだと思いますが、弟子屈や標茶からも来ており、「意外と魚は売られていないんだなあ」ということに気づきました。

漁業者や関係者の皆さんは大変でしたが、自分たちが生産した新鮮な魚を食べてもらい、町民の皆さんに喜んでもらえたことが、一番うれしかったですね。

サケは身おろしサービス、ホタテは今までだと、海から水揚げしたままで販売していましたが、前に砂出しするなど消費者のことを考えたことが好評を得た理由だと思います。

— 東京、札幌などで売り込み活動を展開されましたが、手応えや感想は？

まず町外での売り込みの手始めとして、十月十五日、約五十人が中標津町東武デパート駐車場にサケ二千二百匹を持ち込み、身おろしや新巻作りのサービスを行いました。時間前から長蛇の列ができたのは本当に驚きました。

大きい魚が好評で、このような魚はデパートでも売られていないと実感しました。

第二弾として、東京・小田急デ

パートで十月十九日から二十四日までの六日間、「北海道大収穫祭」

に十二人で出向き、新巻二千八百匹と山漬け二百匹のほか、生フィレ(サケの身おろしたものの)、イクラ・ホタテなどを販売しました。

— ここで思ったことは「魚は一本丸ごとでは売れない」ということでした。一本丸ごと売れたのは、わずかに百本にしか過ぎなかったのです。あとは、すべて切り身で、四切れを一パックにして売ったのが好評でしたね。二人が身おろしに当たったのですが、予想を上回る身おろしに手が痛くなり、悲鳴を上げるほどでした。ホタテも一個、二個ずつが売れました。

— 東京の人の反応は、まず地名で「北海道の標津」と言っても、わか

らなかった。東方沖地震で被害のあった「標津」でわかった人が多かったようです。

魚の方では、「どうしてこんなに安いのか？」と聞かれ、「地元の漁師が直接、魚をもってきたから安いんだよ」と説明しました。

六日間、販売を行いました。同じ人が、何回も足を運んでくれ「標津の魚は、おいしいね」と、買いに来たお客さんもいて、自分としてもうれしく思いました。

中には、お年寄りの方で「ヒズ（サケの頭の鼻の部分）なますにしたいので、サケの頭をください」という人もいて、調理の仕方を知っているんだと、感心させられました。

標津のイクラを試食した東京の人は「イクラ」ってピンポン玉のように固くて、かんだあと皮が残るものと思っていた」と言われ、「標津のは、やわらかく、皮が残らないんだよ」と説明し、東京では、品質の良いイクラは意外と食べられていないことを実感しました。

第三弾として、十月二十八日、札幌の二条市場に十八人が出向き生サケ八百匹と「番屋鮭」（六キロ前後の超特大のサケを厳選、町内三十二のサケ番屋に伝わる、伝統の仕込みで塩漬けにしたもの）百六十四匹を販売。この「番屋鮭」は、新

聞や札幌のテレビ局でPRしたこと、即売り切れの好評ぶり。生サケも完売、多くはクール宅急便で発送されました。

また、婦人部で作った「あきあじ鍋」八百食の無料提供も人気を呼び、名古屋から修学旅行で来ていた高校生が、「こんなにおいしい鍋は初めて」と、鮭を買い求めるほどでした。

また、サケの内臓のちゅう（腸）ときも（心臓）焼きの試食も行い、初めて口にした人がほとんどでしたが、「おいしい」「酒のつまみに最高」と、これまた好評でした。

札幌では、生サケの調理方法をパンフレットなどでPRしなければと思いましたが、お客さんに配付したり、発送する箱の中に入れてあげる必要がありますね。

また、サケ漁が終了間近とあって、良い魚が少なくなっていて売りに込み時期に問題を残しました。

以上、各地で売り込みをやってきましたが、いろいろと勉強させられる点がありました。「売って初めてお金がもらえる」「自分たちでやらなければ」と実感させられ、若い人たちを含め、何よりも漁民が



たくさんの人でにぎわう「標津・魚の日」=11月26日=

関心を持ってくれたのが一番大きいことでした。

協議会の組織は心強いです

——広報しべつで、昨年三月から始めた、新町民にインタビューするコーナーでも転勤族を含め、いろいろな人に会い、お話を聞きました。「海のまちなのに魚が買えない」と何人かに言われ、なるほどそうだなと思っていました。

何事も頭で描いていても、行動に移すととなると、いろんな関係者の理解と協力がなければできません。これをクリアして実践に移すまで、大変なご苦労があったと思いますか？

そうですね。この協議会は、漁

業者を始め、漁協、町、買受人組合、商工会など多くの団体に組織できたのも、皆さんのご理解とご協力があつたからです。

うちが、ほかのまちと比べ誇れることは、この組織力ですね。買受人組合などが組織に入っていることも心強いです。

——サケのシンボルマークが決定しましたが、全国から予想を上回る二百七十七点もの応募がありましたね。このことについては？

正直言って、こんなに応募があるとは思いませんでした。今後は魚箱やハッピー、ステッカーなどに用い、標津産サケをPRしていきます。全国の人が標津に関心をもっていただけても効果があつたのではないかと私は思うのです。

——今後の販売戦略は？

「番屋鮭」が好評でしたので、今年は数を増やし、私としてはこれを目玉に各番屋で作り方を統一することなど考えています。

また、「ゆうパック」でのサケ・ホタテの販売も考えたいですね。

昨年の成功が良い意味でのプレッシャーに

——今年の抱負は？

昨年の反省点を踏まえ、早い時期に協議会で話し合い、今年はどういうふうの実施するか計画を立てたいと思っています。

町民から「今年も魚の日やるんでしょ」と、よく聞かれます。せっかく昨年こんなに喜ばれたのだから、私としては時期は別としてもやりたいですね。自分たちも大変な時期だからこそ…。昨年成功したゆえにそれだけ良い意味でのプレッシャーもかかり、「今年も失敗はできない」というのが正直なところ。昨年は漁業者が手弁当で実施したので、原価に近い価格で売ることができました。今後このことを考えると難しい課題もあります。

私たち漁業者はこの厳しい状況の中、町民皆さんのご協力を得て、今年も一生懸命がんばりますので、何とぞよろしくお願いします。

——標津は、なんといっても漁業と酪農のまちです。この第一次産業なくしては、まちは語れません。町民挙げてのバックアップも必要だと思います。

今後さらなるご活躍を期待しています。本日はありがとうございました。



設立記念に 少林寺拳法大会

— 標津支部が主催 —

昨年九月に結成された少林寺拳法北海道標津支部（稲村徳弥部長）の設立記念大会が、十一月二十日、標津中学校体育館で行われました。

大会には釧路地区ブロックの八団体の小学生から一般までの百人あまりが参加。選手は規定・自由組演武や親子演武などの種目に分かれて競技が行われ、「アー」「ヤー」と気合いの入った掛け声が館内に響きわたりました。

稲村支部長は「この大会を機に

少林寺拳法の発展と、微力ながら町のスポーツの振興に貢献したい」と今後に意欲を燃やしています。成績は次のとおり（標津支部選手のみ紹介）。

◇規定演武

▽8、7級の部 ①林大輔・月岡大輔 ②稲村いずみ・桜井美紀

◇自由組演武

▽中学生、一般の部 ①大場良喜・中野智和 ③藤野将司・伊藤慎吾・家政孝徳

※同支部の現在の会員は小学生から一般までの二十三人。毎週月曜日と金曜日の週二回、鳩ヶ丘体育館で行っています。

▽問い合わせ先は、稲村支部長宅（☎2-1224）まで。



神秘的な自然産卵のシーン

（11月20日撮影）

サケの体験学習 自然産卵シーンも観察

— サーモン科学館 —

標津サーモン科学館では、十一月にシロサケの産卵行動の観察実習とシロサケの卵を受精させる採卵実習を行いました。

親子連れなどでの参加者は、同館の学芸員から説明を受け、普段は体験のできない実習に興味深げに取り組みました。

中でも、十月三十日でサケの上公開が終了した同館の魚道水槽では、雌が尾びれをぼろぼろにして砂利を掘り、雄が並んで体を震わせ産卵を促す神秘的なシーンに参加者は感動していました。

同館では「今年は多くの町民の参加を」と呼び掛けています。

— 科学館からのお知らせ —
科学館は館内整備などのため、一月三十一日まで休館いたします。



親子で産卵実習

金婚式おめでとう

— 町が記念品を贈る —

十一月二十一日、町では金婚式（結婚五十年）を迎えられたご夫婦に記念写真と記念品を手渡し、お祝いをしました。

この度、金婚式を迎えたご夫婦は、本町の宗形正八さん（78）・ミエさん（71）と写真と新川上町の今野武右衛門さん（78）・良子さん（77）の二組。

記念品を受け取った宗形正八さんは「五十年、早いですね。昭和十九年に結婚したが、当時は見合もなく、お互いに顔も見合こともなかった。親を信じて結婚したものでした」「これからも夫婦仲良く暮らし、町のお世話になりたい」と笑顔で話してくれました。



音楽を楽しむ

— ミュージックフェス —

町内の小中学生、一般町民が日々練習した器楽演奏や合唱を披露し、町民の音楽への愛着を育てようと、「標津町ミュージックフェスティバル」が十一月二十三日、川北公民館で開かれました。

出演したのは小中学校の吹奏楽部八団体とママさんコーラスの「グリーンフレンズ」。

見事な演奏や合唱に、会場からは大きな拍手が送られていました。



道産業貢献賞受賞

―地方卸売市場買受人組合―

商工や鉱業などの分野での組織化を推進したり、業界の振興に尽力された団体に与えられる「平成六年度北海道産業貢献賞」の表彰式が十一月二十六日、札幌市内のホテルで行われ、本町の標準漁協地方卸売買受人組合（狩野洋三組合長理事）が表彰されました。

同組合は昭和三十七年に設立。以来、市場運営に携わり、時代時代の内部の諸問題を解決することにより、組合員の経営の安定と市場の適正な運営に尽力された功績が認められ、団体として根室管内では初の受賞となりました。

狩野組合長は「今後、水産物の安定流通と町の産業経済の振興に努力したい」と話しています。



標津空手少年団が喜びの受賞

―道スポーツ少年団表彰―

北海道体育協会主催の北海道スポーツ少年団表彰に輝いた標準空手道スポーツ少年団（中野悟団長、団員五十六人）の写真を前に、このほど鳩ヶ丘体育館で賞状の伝達が行われ、関係者が受賞を喜び合いました。

表彰された同少年団は、四年連続で全国大会に出場、ベストスリーに入賞した実績などが評価されました。

このほかに同部員の早川弘三さんと川北卓球スポーツ少年団の和田託真さんも指導者としての功績が認められ表彰されました。

荒屋さんに町から感謝状

―本町進展のため尽力―

この度、離町されることになった荒屋耕治さん（62・鳩ヶ丘町）に本町在住の間、本町の行政、経済、文化各般の進展に寄与された功績をたたえ、十一月二十五日、町長から感謝状が贈られました。

荒屋さんは旅館業（ホテルワカマツ）を営む傍ら、町納税貯蓄組合連合会長として、納税思想の普及啓蒙に尽力されたほか、消防団の幹部団員、商工会理事、町国保運営協議会委員、観光協会理事並びに旅館組合長などの要職を多年にわたり務められました。

離町に当たり荒屋さんは「町民の皆さんに大変お世話になりました」と述べられました。



国際化時代を考える

―国際交流体験と講演の夕べ―

国際化時代を迎え、身近な国際体験の発表と講演を聞き、大人と子供が一緒に国際的視野にたつて物事を考えようと、十二月六日、川北公民館で「国際交流体験発表と講演の夕べ」が開かれました。

主催は川北地区学校外活動協力者会議（大屋知行代表）。川北中学生ら四人による「ロシア青少年との交流を通じて」、「中学生海外派遣（カナダ）」の体験発表の後、細見浩標準小学校長（前北京日本人学校長）の「北京の学校の様子と北京での生活体験」と題した講演が行われ、参加した約五十人が「国際化」について学びました。



地域福祉を高めるために

―管内町内会婦人部大会―

「地域福祉を高めるために」と、十二月七日、町農村環境改善センターで第七回根室管内町内会婦人部研修大会が開かれました。

大会には一市四町の各町内会婦人部の代表ら約百三十人が参加。実践報告として根室市、中標津町、本町の三人が自分たちの活動状況を発表後、羅臼町保健婦長の小尾和子さんが「長寿社会の町づくり」をテーマに講演があり、参加者は真剣に聞き入っていました。

最後に標準地区町内会連合会婦人部長の池田うた子さんが交通安全全決意表明を読みあげました。



村山(良陽 子)さんちの

かすみ
香純ちゃん

(H6.1.29生)

伊茶仁 105



☆生まれた時の身長・体重は

身長/48.7cm

体重/3,295g

☆今ではこんなに大きく

なりました。

身長/70.0cm

体重/ 7.8kg



お母さんからひと言

『生まれた時に、先生が、「お母さんも大変だったけど、赤ちゃんもがんばったネ」とほめられ、元気に産声をあげた香純。』

最近では自我の目覚めか、なんでも泣いて通そうとする、甘えっ子になってしまいました。たくさんのお友達に出会い、明るく、やさしい子に育ってほしいと思っています。』

時事川柳

新党も 昔の顔で 出ています

金の世や 首長議員も 金よこせ

議員殿 金(助成)をやるから 政治呉れ

友好は ビザ無しという 欺まんだけ

政治好き 選挙の度に 現われる

布施惣一郎(弥栄町)

お正月 大人も欲しいよ お年玉

貧乏ひまなし男(双葉町)

知りません 死んでもいいのは ありません

よい子(曙町)

就職難 同情するなら コネをくれ

コネなし人間(緑町)

「時事川柳」募集中!

ハガキまたは、用紙に川柳と住所、氏名、を記入のうえ、役場広報統計係に郵送または、持参してください。

匿名でもかまいません。

たくさんの川柳をお待ちしています。

町長の動静

11月21日～12月20日

▽11月22日(根室)

地域道政懇話会

▽11月24日(根室)

小里北海道開発庁長官に対する陳情会

▽11月25日(町内・中標津)

臨時町議会、小里北海道開発

庁長官への地震被災状況説明

▽11月27日～11月29日(静岡)

管内町長会水産産業廃棄物処

理施設調査

▽11月30日(東京)

全国町村長大会

全国農地海岸事業促進大会

▽12月1日(東京)

全国海岸事業促進大会

▽12月5日(東京)

北海道水産物流通加工活性化

協議会中央陳情

▽12月6日(東京)

国道272号整備促進及び地

域高規格道路建設促進陳情

▽12月7日(札幌)

北海道町村会理事会

▽12月13日(町内・中標津)

一部事務組合議会

▽12月15日(町内)

定例町議会

▽12月16日(町内)

歳末警戒の各消防団員激励

▽12月20日(東京)

政府予算対策重点要請行動

かなやま
『標津金山』



第18回HBC杯ジュニア・アルペンスキー大会に出場した標津金山SRCの選手
(昨年2月、旭川市サンパレースキー場にて)

会 員 S R C
募集中!
(スキーレーシング)

▽代表者

遠藤慎吉さん(コーチ)

▽事務局

武田義昭さん(せせらぎの宿)

▽現在の会員数

14人(小学生12人、中学生2人)

▽サークルの目的

冬はとかく家の中に閉じこもりがちなことから、スキーで健全な心と体を鍛え、仲間づくりとスキーの技術向上を目的に発足。

▽活動内容

小学生と中学生を対象に、大回転(GS)、回転(SL)の練習に取り組んでいます。練習は冬休み期間中、金山ス

キー場で毎日行うほか、斜里町の峰浜スキー場(海別岳)で、ナイター練習や阿寒で合宿も行うなどの熱の入れようです。コーチが基礎を徹底指導しますので、初心者でも大歓迎。また、練習の合間には「せせらぎの宿」で、冬休み中の勉強も忘れてはいません。

昨シーズンは、各地の大会に参加し、HBC杯ジュニアアルペンスキー大会で6位に入賞したほか、阿寒大回転大会で優勝、二位、三位と上位を独占するなど見事な成績を残しています。

▽会員募集中

同サークルでは会員を募集しています。

▽申し込み・問い合わせ先

事務局の武田さん(☎5-2172)へ。

武田さんは「冬場の体力づくりには最高。カゼもひかなくなる」と話しています。

今月号から始めたこのコーナーでは、紹介してほしい「サークル」を募集しています。

スポーツ・文化系を問いません。ご連絡ください。

▽連絡先

役場広報統計係(☎2-2131 内線110)へ。

新春

ウルトラクイズ?

問1

下の図のような式がある。
□にはいったいどんな数字が入るのだろうか?
(ヒント)

1 ☆ 2 = 5 ☆ 2
4 ☆ 1 = 7 ☆ 4
3 ☆ 5 = □ ☆ 1

問2



模擬試験が終了後に、上京している息子から両親に図のようなハガキが届いた。いったいどういう意味なのだろうか?
〈ヒント〉少なへとも、おなかですいているという意味ではないらしい。

答えは、ハガキに住所、氏名、年齢と広報に対する「意見、感想」など記入の上、1月13日(当日消印有効)までに役場広報統計係まで送付してください。

■あて先 標津町字標津3-5 役場広報統計係内、新春ウルトラクイズ係まで

正解者のうち、抽選で5名の方に贈答用としても人気の「銀ッリーズ・サケ缶詰セット」(6個入り)をプレゼントします。

阿寒バスからの お知らせ

阿寒バスの羅臼線が釧路の「場外馬券場」と「釧路サティ」で乗降できるようになりました。

町民皆様のたくさんのご利用をお待ちしております。

☆ 1月のスポーツ ☆

5日

・第19回新春スプリント大会
〔9時30分～町営スケートリンク〕

9日

・町営スケートリンク落成式
〔13時～町営スケートリンク〕

10日 11日

・子供スケート教室
〔11時～町営スケートリンク／13時30分～川北スケートリンク〕

15日 22日

・ファミリースキー教室
〔10時～金山スキー場〕

25日

・第24回管内中学校スケート大会
〔9時～町営スケートリンク〕

寄付ありがとうございました

- 東方沖地震の見舞金として町に—
村上梅子さん（東京在住元町長夫人）
- 町体育文化振興基金に—
梅木正己さん（全快祝をやめて）
- 町社会福祉協議会に—
聖友標津支所
- はまなす苑に—
・神内美津恵さん
・小林理容店（石けん）
・マザーグース（箱ティッシュ）
・須賀原博子さん（タオル）
- 中央公民館図書室に本を—
・富森博さん・高橋哲二さん・音川忠男さん
・大石順一さん・亀田実さん

健康相談・健診日程表

〈1月分〉

乳幼児

■乳幼児相談

17日（火）〈標津〉
〔9時30分～10時30分・13時30分～14時30分／農改センター〕
※午前の部 10・13カ月児、午後の部 4・7カ月児対象
19日（木）〈川北〉
〔13時30分～14時30分／川北公民館〕

※4・7・10・13カ月児対象

■歯ピカ教室

9日（月）・10日（火）
〔9時30分～10時30分、13時30分～14時30分／農改センター〕

妊 婦

■マラスクール

13・20・27日（金）
〔13時～15時／農改センター〕

成 人

■糖尿病健康相談

18日（水）

〔10時～16時／役場相談室〕

■一般健康相談

9日（月）

〔10時～11時30分／薫別集落センター・13時30分～14時／崎無異〕

27日（金）

〔13時～16時／役場相談室〕

〈2月分〉

成 人

■一般健康相談

6日（月）

〔13時30分～15時／茶志骨パイロット会館〕

23日（木）

〔10時～11時30分／川北公民館〕

24日（金）

〔13時～16時／役場相談室〕

※農改センター…農村環境改善センターの略

ごみの収集日

曜 日	一般廃棄物収集区域 （祭日は休みです）〈有 料〉	不燃物収集日 〈無 料〉
月・木	新川上町・若草町・川上町・栄町・ 緑町・弥栄町・曙町	1月9日・1月26日 （月）（木） 2月2日 （木）
火・金	本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・ 桜木町・住吉町・東浜町	1月10日・1月27日 （火）（金） 2月3日 （金）
水・土	川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠・ 薫別・崎無異・古多糠	1月11日・1月25日 2月1日 （水）

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

年末調整等書類の 提出について

平成6年分の年末調整関係の書類および平成7年度償却資産申告書、牛の頭数調べ(農家の方のみ)の提出期限は1月31日となっております。

期限厳守のうえ、役場税務課まで提出願います。

▷お問い合わせ先—役場税務課(☎内線117・118)へ。

1月7日に成人式を 行います

町教育委員会では、平成7年成人式を1月7日に町農村環境改善センターで行います。

成人対象者は、昭和49年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた方です。

なお、普段他市町村にお住まいで、当町の成人式に参加希望される方もご遠慮なくお申し込みください。

▷問い合わせ先—町教育委員会・社会教育課(☎2-2855)へ。

お出かけ前には 防火のチェックを

年始には留守にする機会が多く、毎年各地で悲惨な火災事故が発生しています。

お出かけ前には、防火のチェックを!

■コンロやストーブなどの元栓を閉めたり、電気機器の電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

■ストーブなどをタイマーによって点火させる場合には、周辺に燃えやすい物がないかを確認、タイマーセットを正確に行い、点火時間を考慮して帰宅を。

■子供や老人だけを残して外出することはやめましょう。

■長時間留守にする場合には、知人や隣近所の人に一言掛けてから出掛けるように心掛けましょう。—標津消防署—

イベント 案内

'95 しべつ冬まつり

■とき 2月11日(土)午後1時~7時

■ところ 標津小中学校グラウンド

■主催 しべつ冬まつり実行委員会
(事務局—役場商工観光課)

冬の寒さを吹き飛ばす

楽しいイベントでいっぱい!!

水道給水の凍結にご注意

— 役場・上下水道課から —

寒さが厳しくなりました。
給水管の凍結にご注意!!

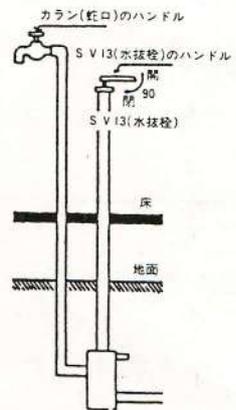
※お出掛け前、就寝前には、はじめにすべての蛇口(カラン)を全開(水を出しっぱなし)にします。次に、水抜き栓のハンドルを完全に閉めて水が抜けるのを確認してください。

★もし凍ったとき?

①蛇口にタオルや布切れをまいて熱湯をかけてください。(水抜き栓のパイプ部分には、水がなく凍りませんのでかけないでください)。

②それでも水が出ない時は、役場、または下記の業者へ連絡してください。

- 大標設備工業有限会社 ☎2-3332
- 出口設備有限会社 ☎2-2479
- 更谷商会 ☎5-2036
- 奥商会 ☎5-2021



水洗トイレの凍結防止にご協力ください。

●トイレ内に水道の元栓がある方は、台所の元栓と一緒に閉めることを忘れずに。

●就寝前や日中留守にする方は、ロータンのレバーを「大」の位置で止め、タンク内の水を抜くことを忘れずに。

★もし凍ったとき—

- 大標設備工業有限会社 ☎2-3332
- 出口設備有限会社 ☎2-2479



新田 義信さん

(望ヶ丘町)

=ホクモウ(株)勤務=

ま
ち
の
声
105

最近、私が標津町にいて感じたことは、私も含めて若い人達が都会に出たがることです。

標津町は漁業をはじめとして関連産業に従事している人が多く生活していますが、都市に遠く不便な環境に不満を持っている人もいます。

今、私は漁網を作る会社で研修生として技術を学びながら働いています。学生の時には父の仕事を見て私も水産従事者として働いてみたいと思い水産関係の学校へいきました。その時、他の町を見る

『標津について』

機会があり、都会は私にとってとても楽しいところでした。

いろんなことをやっている人がいて、見ているだけでも楽しく、イベントなどに参加しても、とても面白かったです。他には、ほしいものがたいてい売っていますし、何よりサービス業の種類が多さに驚きました。

標津に帰りたくないという気持ちもありましたが、標津に帰ってくると大きな海や北方領土、近隣の町では開陽台から見る地平線など自然の大きさに感動させられ、やっぱり標津はいいところだと思いました。

学校では「つくり育てる漁業」という方針で、採るだけではなく、二百年の歴史が定着した漁業では養殖業が重要な役割を果たしていることを教わりました。

私は、標津のまちがもっと活気があり、若い人たちにも魅力のあるまちになればいいと思います。そのためには、地域の特性を生かした施設の整備や生活環境の整備がもっと進んでゆけばいいと思います。

これから父の後を継ぐことができれば、水産従事者としての使命を自覚し、水産業を広い視野から判断し、まちを発展させるよう努力していきたいと考えています。

以上、標津について思うことを書きましたが、これからは漁業を中心とした文化や地元漁業者の長年の経験や知識、技術など大切にしていきたいと思っています。

※次の町の声は、望ヶ丘町の藤本一雄さんです。

戸籍の窓口から (11月16日~12月15日届出分)

お誕生おめでとう

おなまえ	住所	保護者
門脇 由紀ちゃん	寿 町	門脇 博
安富 麗華ちゃん	古多 郷	安富 一男
高橋 杏奈ちゃん	本 町	高橋 幸英
境 直人くん	双葉 町	境 輝美
榊田 晃太くん	曙 町	榊田 守
桶谷 美咲ちゃん	曙 町	桶谷 秀幸

ご結婚おめでとう

夫の氏名	妻の氏名	住所
今野 正広さん	笠井あや子さん	寿 町
大川内 明さん	古川 香代さん	弥栄 町
野村 和生さん	佐藤まゆみさん	茶志骨 ハイロツト

人のうごき

平成6年12月1日現在
()は前月比
人口 6,865人 (+5)
男 3,333人 (-2)
女 3,532人 (+7)
世帯数 2,327世帯(+1)

町内の交通事故

12月
()は累計
人身事故 2件(10件)
負傷者 1人(23人)
死亡者 1人(2人)
物損事故 24件(178件)
死亡事故ゼロの日
14日(12/15現在)

おくやみ申し上げます

氏名	住所	年齢
長嶋 幸雄さん	川上 町	58歳
畑 耕一さん	北川 北	90歳

編 集 の 窓

▷皆さん、あけましておめでとうございます。今年の干支は亥。このイノシシは、走ると曲がれないほど突っ走る訳わからず突っ走るのは困りますが、まず今年の自分のテーマを持ち、それに向かって良い意味での突っ走る年にしたいと思っています。

▷さて、自分が広報を担当して早いもので2年が過ぎました。毎月の原稿締切に追われ、気づいたら2年というのが正直な感想です。これからは、行き当たりばったりの記事を見直し、広報の原点を考え、少しでも良い広報紙を出せればと思っています。どうぞよろしく一。

(ひ)